

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

公正かつ誠実な企業活動を基盤とした創造的なサービスの提供を通して、全社員と関わる全ての人の幸せを追求。

売上高
21,000百万円

営業利益
3,500百万円

営業利益率
16.7%

② 中長期の経営戦略

1. 売上の拡大

既存店舗網の活用、首都圏営業強化、新規出店による営業エリア拡大。事業用賃料保証を大型オフィス・商業施設に展開。継続保証料や代位弁済手数料増加、医療費保証など新収益基盤も拡大。

3. 与信審査の強化

債権データと個人信用情報機関の情報活用。AI分析を用いた与信審査モデルの高度化で精度向上し、代位弁済立替金を適切な水準に抑制。

2. サービス開発

家賃債務保証業界の競争激化に対応。時代のニーズに合わせた技術革新、新サービス導入。様々な業種とのコラボレーション含め、革新的サービス開発と申込チャネル拡大を推進。

4. DXの推進

グループ会社エイビスとの連携強化。AIを活用したデータ分析高度化、電子申込・契約移行に積極的に取り組み、不動産業界の業務改革を推進。

③ 対処すべき課題

① 利益の拡大

- ・売上拡大と継続保証料・代位弁済手数料の増加
- ・コスト抑制と与信審査強化による貸倒コスト削減
- ・システムの抜本的刷新と基幹システムの更改

② リスクコントロール

- ・与信精度向上によるAI分析活用とモデル高度化
- ・債権管理体制強化と生活支援相談の提供
- ・弁護士・司法書士との連携による滞納債権抑制

③ 経営基盤の強化

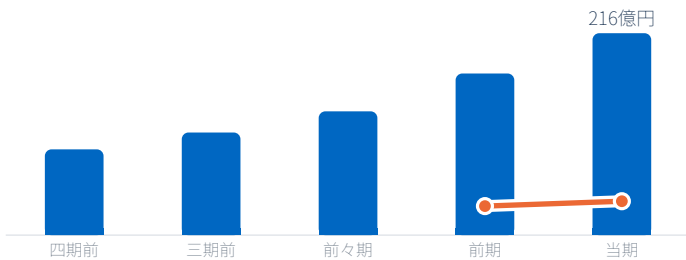
- ・内部監査・コンプライアンス体制の充実
- ・キャッシュ・フロー拡大と資金調達環境の安定化
- ・優秀な人財確保と階層別・職種別の社員教育

面接で使えるポイント

- ・未来ビジョン「誰もが自分の人生をまっとうできる社会をつくる」の実現に向け…
- ・2026年3月期に売上高21,000百万円、営業利益3,500百万円を目標に…
- ・グループ会社エイビスとの連携強化やAI分析活用など、DXを推進して不動産業界の業務改革に貢献する組織運営体制。

証券コード 7187

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
216億円営業利益率
16.8%財務健康度
59点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 44.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
571万円

その他金融業内 28位/38社

平均年齢
38.2歳

その他金融業内 29位/38社

平均勤続
7.2年

その他金融業内 25位/38社

女性管理職
21.2%

その他金融業内 13位/27社

男性育休
70.0%

その他金融業内 21位/22社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ジェイリース株式会社と業務提携契約を締結 | セカンドサイト

